

科目名	資格対策講座 3							年度	2026
英語科目名	Certification Exams 3							学期	通年
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	藤田美保		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン・音楽教師			
【科目の目的】 ビジネス分野の検定試験に合格するための知識を習得する。その知識を検定試験の対策に活かすと同時に、日本社会の動向に興味を持ち、自身がどのような社会人になるかのビジョンを持つための視点を養う。									
【科目の概要】 学科に関連する資格に対して集中的な対策講座を開催します。									
【到達目標】 A. 当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する。 B. 検定対策として学んだ知識を、2 年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C. 日本社会の動向に関心を持ち、2 年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する		当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の試験範囲程度の知見を取得する				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	検定対策として学んだ知識を、2 年生前期の学習の場に活かす視座を得る		検定対策として学んだ知識を説明できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	日本社会の動向に関心を持ち、2 年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ		2 年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 資格対策用プリント、各種資格検定対策本									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、受験時の模擬試験・資格受験結果の報告などを総合的に判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策講座 3			年度	2026
英語表記		Certification Exams 3			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 資格対策とは	授業対象資格の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考等